

平成26年度

豊中市立図書館の中長期計画

(豊中市立図書館ランドデザイン)

進捗状況一覧表 (案)

- 図書館の使命と理念
- 概念図
- 4つの目標
- 28のプラン

平成27年6月

豊中市立岡町図書館

図書館の使命と理念 基本目標

<公共図書館の使命・理念>

- ・多様な資料や情報を収集・保存し提供することにより、すべての市民に知る機会を保障します。
- ・民主主義と地方自治の発展に寄与します。
- ・市民の生きがいや心の豊かさを生み出す生涯学習を推進します。

<豊中市立図書館の使命・理念>

- ・豊中市立図書館は「ユネスコ公共図書館宣言」・「図書館法」・「図書館の自由に関する宣言」に基づき、多様な資料や情報を収集・保存し提供します。
- ・豊中市立図書館は、すべての市民に知る自由を保障することにより、民主主義や市民自治の発展に、寄与します。
- ・豊中市立図書館は、教育・文化・情報・社会参加の機関として、その任務を果すことを使命とします。

<豊中市立図書館の基本目標>

1. 図書館活動全般を通じて、教育と文化の向上に貢献し、人権を尊重するまちづくりをめざします。
2. 図書館活動を活発に展開することにより、市民生活に密着した、より質の高いサービスを提供します。
3. 図書館の運営については、納税者が納得できるよう透明性が高く、無駄のない、効果的な運営に努めます。
4. 資料提供については、利用者の秘密を守り、知る自由を保障するため、最善を尽くします。
5. 市民が、より豊かで潤いのある文化的な生活を営むために、必要な資料や場を提供し、市民の人的・文化的教養の醸成を支援します。
6. 日常生活や仕事における、さまざまな課題を解決するために、必要な情報や知識を提供し、個人の能力開発や地域のビジネス活動を支援します。
7. メディアリテラシーの向上にむけ環境を整え、情報格差を解消し、市民の情報生活がより豊かになるよう努めます。
8. 「豊中市子ども読書活動推進計画」に基づき読書環境を整備し、子ども読書活動を推進します。
9. 高齢者や障害者等に優しい情報提供や読書環境を整備し、誰もが共生できる地域社会の実現に貢献します。
10. 地域情報を図書館に集め、地域の活動拠点や居場所として、地域の文化創造に積極的に参画し、コミュニティの活性化に努めます。
11. 図書館協議会や市民活動団体・市民等の参加や協力を得ながら、「豊中市市民公益活動推進条例」等をふまえて、より魅力的な図書館の運営に努めます。
12. 行政機関に対して適切な情報支援を行い、行政の政策立案等を側面からサポートすることにより、市民生活の向上に努めます。
13. 他の図書館や地域の大学・専門機関等とも連携・協力し、より高度で幅広い市民ニーズに対応できるよう努めます。
14. 図書館活動全般を通じて、多文化共生社会の確立に貢献します。 _

〈グランドデザイン 4つの目標と28のプラン 概念図〉

「豊中市立図書館グランドデザイン」とは、平成35年(2023年)までに図書館のめざす姿を実現するために、平成26年3月に策定されたものです。

1 市民と地域の自立を支えます

G サービス(a 利便性の向上)
⑳ 図書館活用の幅を広げる ㉑ 集会室利用の活性化

G サービス(b 地域との関係強化)
㉒ 市民の社会参加、地域との関わりづくりの支援
㉓ 地域情報の活用機会の提供 ㉔ 図書館サポーターへの参加機会の提供

2 利便性を向上させ、あらゆる情報を提供します

G サービス(a 利便性の向上)
① セルフ貸出、返却、予約受取
② 開館日数の拡充
③ 予約資料の受取場所の拡充
④ ICTの活用
⑤ 広域連携の拡大

今後10年に特化した4つの目標

3 地域課題の解決に尽力します

D 調査・分析
① 調査分析

F 資料
② 地域で必要とされる資料の提供

B 職員(a 組織)
③ グループ制の導入
④ 館ごとの目標設定

B 職員(b 人材育成)
⑤ 関連部局との人事交流

G サービス(b 地域との関係強化)
⑥ 地域情報の活用機会の提供

4 子どもの学びを支えます

B 職員(b 人材育成)
⑦ 学校図書館を支援する人材の配置

目標実現を支えるプラン

A 図書館運営
① 最適な実施手法の確立
② 評価システム
③ 業務の改善・集中化

B 職員(a 組織)
④ 職員の役割分担
⑤ 採用計画の作成

B 職員(b 人材育成)
⑥ 関連部局との人事交流
⑦ 体系的な研修の実施
⑧ 先進事例の研究

C 施設・物流(b 物流)
⑨ 柔軟な物流体制

C 施設・物流(a 施設活用)
⑩ 施設配置の最適化

E 情報
⑪ 情報の積極的収集、共有・活用

G サービス(a 利便性の向上)
⑫ セルフ貸出、返却、予約受取
⑬ きめ細やかな接客

H 広報
⑭ 効果的な広報

グランドデザインの4つの目標 進行管理報告書(平成26年度)

グランドデザインの4つの目標とは「豊中市立図書館の中長期計画 豊中市立図書館グランドデザイン」(平成26年3月策定、以後グランドデザイン)において、平成35(2023)年までに図書館のめざす姿を実現するために設定されたものです。図書館のめざす姿を実現するため、28のプランを優先順位の高いものからすすめることになっています。この優先順位の高いプランの実施状況を確認することで、グランドデザインの進捗状況の点検をすすめていきます。進行管理については以下のとおり行います。

- ・0~4の目標のうち、複数のプランがあるものについては、図書館の使命および関連の事業計画や図書館を取り巻く現状などに照らし合わせ、優先順位を決定します。決定には直接サービスに関わる分館の施設長等も関わります。
- ・28のプランを関連する4つの目標(1~4)と目標実現を支える取り組み(0)ごとに分類します。
- ・28のプランの優先順位の高い取り組みを抽出し、事業ごとの取り組みや課題、次年度に向けての予定を達成状況とともに表しています。
- ・優先順位の高い取り組みがどの程度達成できているか確認することにより、図書館のめざす姿の実現に向けての進行管理とします。

達成度 ◎:十分達成できた ○:おおむね達成できた △:一部達成 -:未達成

1. 学びによる市民と地域の自立を支えます。 該当プラン ⑳㉑㉒㉓㉔	
優先的な取組プランと事例	達成状況 課題、平成27年度に向けての取り組み
【優先的取組プラン:㉑図書館サポーターへの参加機会の提供】 【事例】 成人利用者向けの「図書館お仕事体験ツアー」を、庄内図書館、東豊中図書館で開催し、利用者に図書館の仕事の一部を体験してもらいました。	【課題】 ○市民のそれぞれの得意分野で活動できる制度設計㉑ ○ 【平成27年度に向けての取り組み】 ・引き続き、平成28年度の導入をめざして、図書館協議会で議題とし、他市の事例を研究・検討していきます。㉑
2. 市民の利便性を向上させあらゆる情報を提供します。 該当プラン ㉕㉖㉗㉘㉙	
優先的な取組プランと事例	達成状況 課題、平成27年度に向けての取り組み
【優先的取組プラン:㉕セルフ貸出、返却、予約受取】 【事例】 セルフ貸出機を岡町・野畑・千里に導入するとともに、予約の受け取り・貸出を行う予約図書受渡システム(e-棚)の千里への導入が完了しました。	【課題】 ○セルフ貸出機等を導入した館におけるサービスの効果検証 ○全図書館への導入をめざした調整㉕
【優先的取組プラン:㉖開館日数の拡充】 【事例】 4分館は土・日曜日と祝日が重なる日を開館(2日間)し、セルフ貸出機設置などの工事が無い館は、資料点検期間の短縮により、開館日を拡大しました。	○事業の見直しや常勤職員、短時間勤務職員、一般職非常勤職員および臨時職員の役割分担を明確すること等による、さらなる効率化 ㉖ △
【優先的取組プラン:㉗ICTの活用】 【事例】 ・セルフ貸出機を岡町・野畑・千里に、セルフ返却機を野畑・千里に、予約図書受渡システム(e-棚)を千里に、それぞれ導入しました。 ・公衆無線LAN(フリースポット)による、インターネット接続サービスを開始しました。	○セルフ機器導入の効果検証による業務の効率化 ○公衆無線LANのより効果的な活用法の検討 ㉗ ◎ 【平成27年度に向けての取り組み】 ・セルフ貸出機の増設と効果検証をすすめます。㉗ ・開館日数については、千里図書館の340日開館に向けて、セルフ貸出機などの効果検証を実施し、課題整理等を行います。㉖ ・今後のセルフ機器の導入について、導入場所やサービス形態の戦略的な検討を進めます。また、電子書籍の導入や公衆無線LANの活用についてさらに検討し、地域のラーニングコモンズへの進化を目指します。㉗

3. 地域課題に対応した図書館サービスを提供します。 該当プラン ④・⑦・⑧・⑭・⑯・⑳

優先的な取組プラン、事例	達成状況	課題、平成27年度に向けての取り組み
<p>【優先的な取組プラン:⑦館ごとの目標設定】 【事例】 分館のあり方について図書館内部で検討をすすめる過程で、館の特色・方向性をさらに明確にするよう取り組みました。</p>	△	<p>【課題】 ○「特定事業」および「市有施設有効活用」からの検討と、公共図書館の全域サービスの必要性についての調整⑦</p> <p>○公共図書館および学校図書館の双方の職場において、平成26年度の成果と課題をふまえた情報共有や研修の充実⑧</p> <p>【平成27年度に向けての取り組み】 ・高川図書館が担う(仮称)南部コラボセンターのサテライトの役割について、図書館協議会において検討し、詳細設計を行います。⑦ ・常勤職員と他部局の事務職員の人事交流を継続して実施しています。(平成27年度現在2名人事交流を実施)⑧</p>
<p>【優先的な取組プラン:⑧関連部局との人事交流】 【事例】 図書館での事業の理解を深めるため、新規採用職員とともに人事交流の職員を対象に、図書館のおもな取り組みについての研修を実施しました。また庁内のグループウェアに人事交流の制度を周知する記事を掲載しました。</p>	◎	

4. 学校図書館の支援を通じて子どもたちの学びの基礎作りを支えます。 該当プラン ⑪

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成27年度に向けての取り組み
<p>【優先的な取組プラン:⑪学校図書館を支援する人材の配置】 【事例】 教職員対象に、読書振興課職員が講師となり、授業活用データベース等システムの活用や、アニメーション等読書活動の推進に向けた校内研修を13校で実施しました。(平成25度4校)。 学校での読書活動の取組みを紹介する「ブックプラネット通信」を発行し、教育委員会内や学校、図書館で配布しました(平成26年度から。年3回)。</p>	◎	<p>【課題】 ○教育センター、教育推進室小中学校チームと連携した学校図書館活用教育に関する体系的な研修の検討⑪</p> <p>【平成27年度に向けての取り組み】 平成26年度読書振興課が作成した、「豊中市小学校図書館を活用した授業例【とよなかスタンダード】」を各校で実験的に使用しつつ、【とよなかスタンダード】を活用した実践的な研修を実施し、フィードバックを繰り返しながら完成版の作成をめざします。⑪</p>

0. 1から4の目標実現を支えます。

該当プラン①・②・③・⑤・⑥・⑧・⑨・⑩・⑫・⑬・⑮・⑰・⑳・㉒

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成27年度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:①最適な実施手法の確立】 【事例】 分館のあり方、ICTを活用したセルフ貸出機等の導入にともなう業務の見直しなどを館単位、あるいは少人数によるワークショップ、ミーティングを実施し、全体の職員会議で情報共有を行いました。特に高川図書館については先行して分館のあり方の見直しを進めていることから、近隣の保育所や学校への聞き取りに取組み、地域特性の把握に努めました。</p>	△	<p>【課題】 ○コスト感覚を持ち、地域のニーズにあった図書館づくり ○情報や課題の職員間での共有①</p> <p>○読書振興課と岡町図書館 管理担当との連携による、さらなる業務の改善③</p> <p>○異動もふまえた、全職員が把握できるゆるやかな役割分担のガイドライン作成 ○スピーディな方針決定をめざした各連絡会議の効率化⑤</p>
<p>【優先的取組プラン:③業務の改善・集中化】 【事例】 岡町図書館の管理業務について、読書振興課と情報共有の場を持つなど、調整をはかりながら、事務作業の効率化をすすめました。たとえば全館分の物品の購入の取りまとめや消耗品の在庫の管理などについても取組みました。</p>	○	<p>○公共図書館および学校図書館の双方の職場において、平成26年度の成果と課題をふまえた情報共有や研修の充実⑧</p> <p>○他部局からの異動者や新規採用職員を対象とした、豊中市立図書館独自の研修プログラムの充実⑨</p>
<p>【優先的取組プラン:⑤職員の役割分担】 【事例】 館内のサービスに責任を負う常勤職員のフロアマネージャーを地域館に配置しました。多様な雇用形態の職員の役割分担について分館長・副館長会議にて各館での実態把握等を行いました。</p>	△	<p>○(仮称)南部コラボセンター基本構想をふまえた、高川図書館の機能変更。 ○公共施設での聞き取りやモデル事業の実施による地域のニーズを把握 ○セルフ貸出機等、ICTを活用したサービスによる業務の効率化⑫</p> <p>○セルフ貸出機等を導入した館におけるサービスの効果検証 ○全図書館への導入をめざした調整⑰</p>
<p>【優先的取組プラン:⑧関連部局との人事交流】 【事例】 図書館での事業の理解を深めるため、新規採用職員とともに人事交流の職員を対象に、図書館のおもな取り組みについての研修を実施しました。また庁内のグループウェアに人事交流の制度を周知する記事を掲載しました。</p>	◎	<p>○セルフ貸出機を活用したフロアワークのあり方⑳</p> <p>【平成27年度に向けての取り組み】 ・高川図書館については平成27年度中に機能変更のより具体的な計画を作成します①</p>
<p>【優先的取組プラン:⑨体系的な研修の実施】 【事例】 行政職と専門職の業務内容とキャリア形成の側面から、必要な研修情報を担当者を通じて提供し、府や市の研修支援制度の活用も含めて実施しました。児童図書館員養成講座を1名、新任館長研修を2名が受講しました。豊中市立図書館の特色ある取組みについて、内部研修を実施しました。</p>	○	<p>・読書振興課と岡町図書館管理担当の業務について、一部に一体的な運用をはかり、業務の効率化をめざします。③</p> <p>・平成26年度の各館集約をふまえて、分館長・副館長会議や館長会にて役割分担の明示をすすめます。方針決定が効率的に行える各会議のあり方やそれぞれの議論内容をつなぐ役割を検討します。⑤</p> <p>・常勤職員と他部局の事務職員の人事交流を継続して実施しています。(平成27年度現在2名人事交流を実施)⑧</p>
<p>【優先的取組プラン:⑫施設配置の最適化】 【事例】 全体の職員会議などで「特定事業の見直し」の作業工程の一つとして、分館のあり方、特に高川図書館の多機能化について討議を行い、平成27年度中に具体的な機能変更についての計画を明らかにすることとしました。</p>	△	<p>図書館司書専門講座・中堅職員ステップアップ研修・新任館長研修に職員派遣します。また、昨年度に引き続いて、豊中市立図書館独自の研修プログラムを実施します。⑨</p> <p>事務の集中化、ICTを活用したサービスをすすめる中で、人員および施設配置を検討します。また高川図書館を中心とした分館のあり方について、より具体的なプランを作成します。⑫</p>
<p>【優先的取組プラン:⑰セルフ貸出、返却、予約受取】 【事例】 セルフ貸出機を岡町・野畑・千里に導入するとともに、予約の受け取り・貸出を行う予約図書受渡システム(e-棚)の千里への導入が完了しました。</p>	◎	<p>セルフ貸出機の増設と効果検証をすすめます。⑰</p> <p>セルフ貸出機等の導入の効果を確認し、フロアワークの見直しを行います。また、研修も引き続き実施していきます。⑳</p>
<p>【優先的取組プラン:㉒きめ細やかな接客】 【事例】 気軽に声をかけやすいようワッペンを装着し、フロアワークの実践を続けました。研修支援制度を活用し、外部講師による接客の研修を実施しました。</p>	○	

グランドデザインの28のプラン

20150620

優先順位 A：最優先 B：優先 C：通常

達成度◎：年度内に予定した取り組みを十分達成できた ○：おおむね達成できた △：一部達成 ー：未達成

	項目	達成状況と課題、予定
A 図 書 館 運 営	<p>① 【最適な実施手法の確立】</p> <p>サービスの質の維持・向上を図りながら効率的・効果的に図書館運営を行っていくとともに、地域特性をふまえた特色ある図書館づくりを進めていくため、サービス及び経営の両面から業務の実施主体の見直しも含め、最適な実施手法を確立していきます。</p>	<p>【平成26年度事例】</p> <p>分館のあり方、ICTを活用したセルフ貸出機等の導入にともなう業務の見直しなどを館単位、あるいは少人数によるワークショップ、ミーティングを実施し、全体の職員会議で情報共有を行いました。特に高川図書館については先行して分館のあり方の見直しを進めていることから、近隣の保育所や学校への聞き取りに取り組み、地域特性の把握に努めました。</p> <p>【現状】</p> <p>市の特定事業の見直しにおいて、分館のあり方が継続して検討課題であることから、図書館費の削減を目指しながら、分館のあり方やセルフ貸出機等の導入にかかわる業務の見直しについて検討を行っています。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コスト感覚を持ち、地域のニーズにあった図書館づくり ○情報や課題の職員間での共有 <p style="text-align: right;">【達成度：△】</p> <p>【平成27年度の予定】</p> <p>高川図書館については平成27年度中に機能変更のより具体的な計画を作成します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
A 図 書 館 運 営	<p>② 【評価システム】</p> <p>豊中市立図書館評価システムに基づき、事業目的に合わせたサービス提供を検討します。</p>	<p>【平成26年度事例】</p> <p>図書館協議会の議題として「豊中市立図書館の中長期計画の進捗状況」に関連してご意見いただき、評価作業を簡略化し、「豊中市の図書館活動」の中に平成25年度分の評価項目表を含めて編集しました。</p> <p>【現状】</p> <p>事務事業評価や教育振興計画などの分野別計画に係る評価・報告等、評価関連の事務作業が増加しています。これまで業務改善のツールとしていた図書館評価システムを簡素化し、グランドデザイン(平成35年度まで)の進捗管理を優先して取り組んでいます。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アンケート(外部評価の一部として実施)の実施方法、内容についての検討 <p style="text-align: right;">【達成度：△】</p> <p>【平成27年度の予定】</p> <p>図書館評価システムの一部として実施してきた2種類のアンケート(来館者・市民)を、グランドデザインの進捗管理と関連づけることができるか検討します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>

<p>A 図 書 館 運 営</p>	<p>③ 【業務の改善・集中化】 図書館業務の改善・集中化を進めます。</p>	<p>【平成 26 年度事例】 岡町図書館の管理業務について、読書振興課と情報共有の場を持つなど、調整をはかりながら、事務作業の効率化をすすめました。たとえば全館分の物品購入の取りまとめや消耗品の在庫の管理などについても取り組みました。</p> <p>【現状】 管理業務の集中化を含め、業務の改善について各館および全体の職員会議などで検討をすすめています。</p> <p>【課題】 ○読書振興課と岡町図書館 管理担当との連携による、さらなる業務の改善</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 27 年度の予定】 読書振興課と岡町図書館・管理担当の業務について、一部に一体的な運用をはかり、業務の効率化をめざします。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
<p>B 職 員 a 組 織</p>	<p>④ 【グループ制の導入】 全市的な課題に基づいたグループ制を導入します</p>	<p>【平成 26 年度事例】 資料の効率、効果的な運用をはかるための資料運用のグループが定期的に会議を開催し、古い資料の抜き取りや書庫入れの基準づくりなどに取り組みました。また庄内図書館において高齢者サービスを視野に入れた情報収集を行い、高齢者対象の読み聞かせや関連する研修（認知症サポーター養成講座）を実施しました。</p> <p>【現状】 児童、成人、参考室や資料運用、分析・PR チームなど、全市的な課題解決に向けて横断的な組織となっている各グループによって取り組んでいます。また高齢者サービスについては庄内図書館を中心に情報収集をすすめています。</p> <p>【課題】 ○グループ会議の持ち方、およびグループ間や館長会議との情報共有の手法についての検討。</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 27 年度の予定】 グループにグループリーダーを置き、意思決定が円滑に進められる組織づくりに取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
<p>B 職 員 a 組 織</p>	<p>⑤ 【職員の役割分担】 職員の役割分担を明確にします</p>	<p>【平成 26 年度事例】 館内のサービスに責任を負う常勤職員のフロアマネージャーを地域館に配置しました。</p> <p>多様な雇用形態の職員の役割分担について分館長・副館長会議にて各館での実態把握等を行いました。</p>

		<p>【現状】 館の事情や職員のキャリアの違い等により、明確な役割分担が示されていない状況です。</p> <p>【課題】 ○異動もふまえた、全職員が把握できるゆるやかな役割分担のガイドライン作成 ○スピーディな方針決定をめざした各連絡会議の効率化</p> <p style="text-align: right;">【達成度：△】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】 平成 26 年度の各館集約をふまえて、分館長・副館長会議や館長会にて役割分担の明示をすすめます。 方針決定が効率的に行える各会議のあり方やそれぞれの議論内容をつなぐ役割を検討します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
<p>B 職 員 a 組 織</p>	<p>⑥ 【採用計画の作成】 常勤職員の年齢構成バランスを考慮した採用計画を作成します</p>	<p>【平成 26 年度事例】 市の特定事業の見直しの進捗管理(総務部行政総務室主管)において、図書館職員数の展望についても論議を行いました。</p> <p>【現状】 平成 26 年度新規採用職員は欠員補充を含め 5 名（司書 4・事務 1）、平成 26 年度末定年退職および早期退職者は 3 名（司書 3）となりました。平成 32 年度までの職員数変動予測(人件費削減の方向性)に則り管理しています。</p> <p>【課題】 ○図書館運営をめぐる厳しい状況下における新規採用職員の育成 ○他部局・学校図書館からの異動者が速やかに公共図書館について理解を深め、力を発揮できるような仕組みづくり</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】 年度内に職員の新規採用の予定はありません。 26 年度の新規採用職員には、市役所内の育成プログラム以外に、図書館内部の業務研修を継続して実施します。他部局・学校図書館からの異動者にも、ヒアリングと業務研修を実施します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
<p>B 職 員 a 組 織</p>	<p>⑦ 【館ごとの目標設定】 地域課題に基づいた館ごとの目標を設定します</p>	<p>【平成 26 年度事例】 分館のあり方について図書館内部で検討をすすめる過程で、館の特色・方向性をさらに明確にするよう取り組みました。図書館協議会において「高川図書館のサテライト化について」を議題としました。</p> <p>【現状】 総務部行政総務室「特定事業の見直し 平成 26 年度進捗状況」(平成 27 年 3 月公表 p 15~16) 参照</p>

		<p>http://www.city.toyonaka.osaka.jp/joho/saiken/tokuteijigyou.files/h26tokuteijigyou.pdf</p> <p>【課題】</p> <p>○「特定事業」および「市有施設有効活用」からの検討と、公共図書館の全域サービスの必要性についての調整</p> <p style="text-align: right;">【達成度：△】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>高川図書館が（仮称）南部コラボセンターのサテライトの役割を担う視点で、（拡充事業として検討し）詳細設計を行います。また館ごとの目標設定に取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
B 職 員 b 人 材 育 成	⑧ 【関連部局との人事交流】 関連部局との人事交流を行います。	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>図書館での事業の理解を深めるため、新規採用職員とともに人事交流の職員を対象に、図書館のおもな取り組みについての研修を実施しました。また庁内のグループウェアに人事交流の制度を周知する記事を掲載しました。</p> <p>【現状】</p> <p>短時間勤務職員と学校司書および常勤職員と他部局の事務職員の人事交流を行っています。</p> <p>【課題】</p> <p>○公共図書館および学校図書館の双方の職場において、平成 26 年度の成果と課題をふまえた情報共有や研修の充実</p> <p style="text-align: right;">【達成度：◎】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>常勤職員と他部局の事務職員の人事交流を継続して実施しています。（平成 27 年度現在、2 名人事交流を実施）</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
B 職 員 b 人 材 育 成	⑨ 【体系的な研修の実施】 これからの図書館サービスに必要な人材育成のためより体系的な研修を行います	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>行政職と専門職の業務内容とキャリア形成の側面から、必要な研修情報を担当者から提供し、研修支援制度の活用も含めて実施しました。児童図書館員養成講座を 1 名、新任館長研修を 2 名が受講しました。豊中市立図書館の特色ある取組みについて、内部研修を実施しました。</p> <p>【現状】</p> <p>従来から市の各種政策課題に関する研修をはじめとして、府や図書館関係団体による研修を受講し、内容を図書館内部で共有し、学びを共有しています。</p> <p>【課題】</p> <p>○他部局からの異動者や新規採用職員を対象とした、豊中市立図書館独自の研修プログラムの充実</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>図書館司書専門講座・中堅職員ステップアップ研修・新任館長研修に職員</p>

		<p>派遣します。また、昨年度に引き続いて、年度当初に豊中市立図書館独自の研修プログラムを実施します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
B 職 員 b 人 材 育 成	<p>⑩ 【先進事例の研究】 先進事例などの研究を業務として行うしくみを整え発信します</p>	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>コンピュータ委員がセルフ貸出機や予約図書受渡システム（e-棚）の導入にあたり、高槻市立中央図書館などを視察。岡町図書館を開催会場とし、公共図書館員のための医療情報サービス研修会を実施、発表と情報・資料交換を通して先進事例を学びました。</p> <p>【現状】</p> <p>コンピュータ委員会による視察、また課題解決テーマ（医療）に関連して岡町図書館が研修会開催会場になり先進事例を学び、業務への導入・記録作成・発信に取り組んでいます。</p> <p>分析PRチームで、図書館関係の主な情報源から、ユニークで豊中でも有効と考えられる取り組みを一覧にし、職員全体に発信するしくみを検討しました。</p> <p>【課題】直近の課題に関する視察のほか、グランドデザインの実現や効率的な図書館運営など、中長期的な課題に直接関連する先進事例の研究</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>グランドデザインの実現や効率的な図書館運営に直接関連する先進事例の研究を分析PRチームなどで進めます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
B 職 員 b 人 材 育 成	<p>⑪ 【学校図書館を支援する人材の配置】 学校図書館を支援する人材を配置します</p>	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>教職員対象に、読書振興課職員が講師となり、授業活用データベース等システムの活用や、アニメーション等読書活動の推進に向けた校内研修を 13 校で実施しました。（平成 25 年度 4 校）。</p> <p>学校での読書活動の取組みを紹介する「ブックプラネット通信」を発行し、教育委員会内や学校、図書館で配布しました（平成 26 年度から。年 3 回）。</p> <p>【現状】</p> <p>読書振興課に配置された指導主事と市立図書館司書 2 名の計 3 名で学校図書館システム管理、学校図書館訪問、研修の企画・実施等を継続して行っています。各図書館にも地域の学校窓口担当を配置しています。</p> <p>【課題】</p> <p>○教育センター、教育推進室小中学校チームと連携した学校図書館活用教育に関する体系的な研修の検討。</p> <p style="text-align: right;">【達成度：◎】</p>

		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>平成 26 年度読書振興課が作成した、「豊中市小学校図書館を活用した授業例【とよなかスタンダード】」を各校で実験的に使用しつつ、【とよなかスタンダード】を活用した実践的な研修を実施し、フィードバックを繰り返しながら完成版の作成をめざします。 【優先順位：B】</p>
C 施設 ・ 物流 a 施設 活用	⑫ 【施設配置の最適化】 施設配置の最適化を図ります	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>全体の職員会議などで「特定事業の見直し」の作業工程の一つとして、分館のあり方、特に高川図書館の多機能化について討議を行い、平成 27 年度中に具体的な機能変更についての計画を明らかにすることとしました。</p> <p>【現状】</p> <p>豊中市市有施設有効活用計画において検討を行い、特定事業として進捗状況を公表しました。総務部行政総務室「特定事業の見直し 平成 26 年度進捗状況」（平成 27 年 3 月公表 p 15~16）参照 http://www.city.toyonaka.osaka.jp/joho/saiken/tokuteijigyous.files/h26tokuteijigyous.pdf</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○（仮称）南部コラボセンター基本構想をふまえた、高川図書館の機能変更。 ○公共施設での聞き取りやモデル事業の実施による地域のニーズを把握 ○セルフ貸出機等、ICTを活用したサービスによる業務の効率化 <p style="text-align: right;">【達成度：△】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>事務の集中化、ICTを活用したサービスをすすめる中で、人員および施設配置を検討します。また高川図書館を中心とした分館のあり方について、より具体的なプランを作成します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
C 施設 ・ 物流 b 物流	⑬ 【柔軟な物流体制】 市民に効率的に資料・情報を届ける柔軟な物流体制を整えます	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>物流の豊中駅前のでつぷ内に設けた返却ポストについては利用が増加しています。（平均で 1 日 70 冊程度の利用）</p> <p>【現状】各館を巡回する物流については月曜日以外の全日巡回しているものの、これ以上資料運用などの関連で図書等の搬出搬入を追加することは困難となっている現状があり、平成 27 年度より月曜日についても物流便が稼働する体制を検討しました。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料運用等で必要な資料の運搬にも対応できる物流体制の整備。 <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>月曜日に午後 1 便の運行を開始します。（幸町、服部、東豊中を除く）</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>

D 調 査 ・ 分 析	⑭ 【調査分析】 全市的な視野で調査分析 を行い、市民ニーズに沿っ た適切な図書館サービス を提供します	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>「豊中市子ども読書活動推進計画 第 2 期実施計画」でアンケートや聞き取り調査を実施、さまざまな状況の子どものニーズ把握にも努めました。分析 P R チームで各館の平成 24 年度・25 年度の年代別貸出人数比率および利用者層の変化の傾向を調査しました。</p> <p>【現状】</p> <p>分析 P R チームの取り組みで、人口に比して、どの地域・どの年代の図書館利用が進んでいないのか、調査を検討中です。</p> <p>【課題】</p> <p>○来館者以外の市民ニーズを把握する機会が少ない</p> <p>○貸出冊数などの減少傾向は、既に全国的にみられる中、図書館に対する市民ニーズの変化の把握</p> <p style="text-align: right;">【達成度：△】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>人口に比して登録者の少ない地域の洗い出しに努め、その地域・その年代のニーズにあった働きかけを検討するべく、調査します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
E 情 報	⑮ 【情報の積極収集、共有・活用】 サービスに有効な情報を 各職員が積極的に収集し、 共有・活用します	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>日本図書館協会主催の児童図書館養成講座を修了した職員が、こども室担当者の連絡会で学んだ内容を共有する機会をもちました。</p> <p>【現状】</p> <p>研修で得た情報を職員間で共有するため、全体の職員会議や担当者連絡会などで報告の機会を設けています。また職員が他の自治体の図書館を見学した内容をグループウェアに掲示するほか、研修会で報告するなど職員間の情報共有に努めています。</p> <p>【課題】</p> <p>○効果的な情報共有の手段の検討</p> <p style="text-align: right;">【達成度：△】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>全体の職員会議の場や各担当別の連絡会および館内のグループウェアなどを活用し、専門職として必要な継続した学びにつながる情報共有の機会を提供します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>

F 資 料	⑩ 【地域で必要とされる資料の提供】 地域の課題と利用の動向をさらに細やかに分析し、地域で必要とされている資料を提供します。	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>来館者人数の把握が可能になった。また、各分館の地域課題や利用実態など、分析・発表する機会を全体で持ち、選書に活かした。</p> <p>【現状】</p> <p>各分館の課題や利用実態など、分析・発表までは行ったが、今後の方向性の検討までは至っていない。</p> <p>【課題】</p> <p>○地域で必要とされる資料と書架の新鮮度のバランスの維持</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>ビジネスチームは地域経済課と共催事業を年 4 回、図書館を会場にして開催予定。これによりビジネス情報を必要としている市民の来館を促し、今まで以上に市民のニーズを分析し、資料を提供します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
G サ ー ビ ス	⑪ セルフ貸出・返却・予約受取ができる環境を整えます	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>セルフ貸出機を岡町・野畑・千里に導入するとともに、予約の受け取り・貸出を行う予約図書受渡システム（e-棚）の千里への導入が完了しました。</p> <p>【現状】</p> <p>年度末に導入されたので、導入館は利用者に対して丁寧なフォローが必要です。</p> <p>【課題】</p> <p>○セルフ貸出機等を導入した館におけるサービスの効果検証</p> <p>○全図書館への導入をめざした調整</p> <p style="text-align: right;">【達成度：◎】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>セルフ貸出機の増設と効果検証をすすめます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
G サ ー ビ ス	⑫ 開館日数等を拡充します	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>4 分館は土・日曜日と祝日が重なる日を開館（2 日間）し、セルフ貸出機設置などの工事が無い館は、資料点検期間短縮により開館日を拡大しました。</p> <p>【現状】</p> <p>定例休館日である月曜日の開館や岡町図書館の子ども室・参考室の開館時間の延長などの要望があります。</p> <p>【課題】</p> <p>○事業の見直しや常勤職員、短時間勤務職員、一般職非常勤職員および臨時職員の役割分担を明確にすること等による、さらなる効率化</p> <p style="text-align: right;">【達成度：△】</p>

		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>開館日数については、千里図書館の 340 日開館に向けて、セルフ貸出機などの効果検証を実施し、課題整理等を行います。</p> <p>【優先順位：A】</p>
G サ ー ビ ス	⑱ 予約資料の受取場所の拡充を検討します。	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>千里への「e 棚」設置に先立って他市の館外での事例も視察しました。今回、初めて豊中市立図書館以外の施設である豊中駅前の「男女共同参画推進センター すてっぷ」内に返却ポストを設置しましたが、予約資料の受け付けや受取りについては実施していません。</p> <p>【現状】</p> <p>市内の全図書館、図書室および動く図書館のステーションでの予約資料の受け取りが可能です。リクエストの受付も各窓口だけではなく、WEB や携帯から 24 時間いつでも申し込みができます。</p> <p>【課題】</p> <p>○場所の確保と設備投資、物流便の整備</p> <p>【達成度：△】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>他市の先行事例について研究をすすめます。平成 27 年 3 月に千里図書館に設置される予約図書受渡しシステム（e-棚）を活用し、受渡し時間の拡充を検討していきます。</p> <p>【優先順位：C】</p>
G サ ー ビ ス	⑳ ICT を活用したサービスを提供します	<p>【平成 26 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セルフ貸出機を岡町・野畑・千里に、セルフ返却機を野畑・千里に、予約図書受渡しシステム（e 棚）を千里に、それぞれ導入しました。 ・公衆無線 LAN（フリースポット）による、インターネット接続サービスを開始しました。 <p>【現状】</p> <p>セルフ機器利用方法のレクチャーにより、利用者の利便性向上に努めています。また、公衆無線 LAN のより一層の活用のため、利用者への周知に努めています。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○セルフ機器導入の効果検証による業務の効率化 ○公衆無線 LAN のより効果的な活用法の検討 <p>【達成度：◎】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>今後のセルフ機器の導入について、導入場所やサービス形態の戦略的な検討を進めます。また、電子書籍の導入や公衆無線 LAN の活用についてさらに検討し、地域のラーニングコモンズへの進化を目指します。</p> <p>【優先順位：A】</p>
G サ ー ビ ス	㉑ 広域連携のさらなる拡大を行います。	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>豊能地区 3 市 2 町の広域利用について、27 年度本格実施に向けて調整を行いました。</p>

		<p>【現状】 豊能地区3市2町および吹田市との広域利用を継続実施するとともに、拡大の可能性に向けて研究、検討を行います。</p> <p>【課題】 ○南西部の広域利用</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <hr/> <p>【平成27年度の予定】 豊能地区3市2町の広域利用について、27年4月本格実施します。吹田市との広域利用について、28年度本格実施に向けて対象館を全館に拡大するなど調整を行います。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
Gサービス	⑳よりきめ細やかな接客を行います	<p>【平成26年度事例】 気軽に声をかけ易いようワッペンを装着し、フロアワークの実践を続けました。接遇の研修も継続して実施しました。</p> <p>【現状】 セルフ貸出機等の導入により業務の効率化を図り、より細やかな接客、フロアワークの充実をめざしています。</p> <p>【課題】 ○セルフ貸出機を活用したフロアワークのあり方</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <hr/> <p>【平成27年度の予定】 セルフ貸出機等の導入の効果を確認し、フロアワークの見直しを行います。また、研修も引き続き実施していきます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
Gサービス	㉑サービスを具体的に例示し、図書館活用の幅を広げます	<p>【平成26年度事例】 新規採用職員や係長に向けて行われる研修の場で「庁内仕事応援サイト」の案内を行い、ビジネス関連本を持ち込み、貸出を実施しました。また地域の要請を受けての図書館活用の出前講座や、豊中保健所において行われた講演会において、関連図書を持ち込み、貸出を行いました。</p> <p>【現状】 広報広聴課をはじめとした庁内各所からは、レファレンスや資料の取り寄せについては継続して行われています。またフロアにおいて利用者と接する機会が増えることで、カウンターを挟んでのやり取りに比べ、直接的な感想も得やすいなど、より利用者の立場に近い目線で業務を確認することにもつながっています。</p> <p>【課題】 ○課題解決関連資料・情報提供を更に充実させるための工夫、参考室におけるレファレンス対応の体制などの強化。 ○セルフ貸出・返却また予約棚による適切な業務分析に基づいた人員配置</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>

		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>ICT を活用した環境整備を進めるとともに、様々な場面で市民に役に立つ図書館であることを継続して発信していく。</p> <p>【優先順位：C】</p>
G サ ー ビ ス	②4 集会室の利用を活性化 します	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>庄内図書館では協働事業が行われていない日について、協働事業スペースを持ち込み資料による自習ができる学習スペース等として開放しました。また高川図書館では「ぶらりあん」を夏休期間中に自習室として開放したり、書庫のレコードを展示するなどの事業に取り組みました。</p> <p>【現状】</p> <p>図書館の定例行事で集会室を使用することが多く、また登録団体も定期的に使用している状況です。</p> <p>【課題】</p> <p>○利用が固定的になり、地域全体の活性化につながりにくい。</p> <p>【達成度：○】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>・集会室利用の幅を広げ、地域の活性化につなげる。</p> <p>【優先順位：B】</p>
G サ ー ビ ス	②5 豊かな市民力を育む生 涯学習の情報基盤として の公共図書館の役割をは たし、市民の社会参加や地 域との関わりづくりを支 援します	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>情報検索の仕方や本の装備を体験するなど、庄内図書館および東豊中図書館で「大人のための図書館のお仕事体験ツアー」を開催し、図書館についての理解を深める機会としました。アンケート結果から、図書館でのボランティア活動に興味をもたれる声もありました。</p> <p>【現状】</p> <p>公共施設や地域で行われる取り組みに参加し、地域のニーズを把握するとともに、図書館が地域の知の拠点として機能することをPRする機会としています。</p> <p>【課題】</p> <p>○市民への図書館の役割についての周知</p> <p>【達成度：○】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>すでに先行しているしょうないREKや北摂アーカイブス、千里コラボや子ども読書活動など、市民協働の多様な事業を継続して実施するとともに、新たな市民の社会参加の場を提供できるよう、取り組みのPRをすすめます。</p> <p>【優先順位：B】</p>

G サ ー ビ ス	②6 地域の情報を収集・提供・保存し、市民が地域情報を活用する機会を提供します	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>庄内及び蛸池図書館において写真展（箕面滝道）を開催した。講演会（勉強会）では、日東珈琲株式会社の方を講師に「カフェは北摂からはじまった?! カフェパウリスタと珈琲文化」を実施しました。また、当コンテンツが地域探検など小学校の授業で活用されています。</p> <p>【現状】</p> <p>北摂アーカイブスの活動として、月に 2 回程度集まりながら、掲載コンテンツ等を決定し Web ページの更新を実施しています。</p> <p>【課題】</p> <p>○コンテンツと人（写真/フォトエディター）の募集、ひろがり</p> <p style="text-align: right;">【達成度：◎】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>展示テーマ決定し、図書館以外の場所でも写真展を開催、事業と Web ページの周知を図ります。また地域ならではの講演会や他のコンテンツを組み合わせた行事も併せて開催する予定です。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：C】</p>
G サ ー ビ ス	②7 図書館サポーターへの参加機会の提供を行います	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>成人利用者向けの「図書館お仕事体験ツアー」を、庄内図書館、東豊中図書館で開催し、利用者に図書館の仕事の一部を体験してもらいました。</p> <p>【現状】</p> <p>サポーター受入のための研修制度の整備、他市の事例の情報収集をすすめています。</p> <p>【課題】</p> <p>○市民のそれぞれの得意分野で活動できる制度設計 【達成度：○】</p>
		<p>【平成 27 年度の予定】</p> <p>引き続き、平成 28 年度の導入をめざして、他市の事例を研究・検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
H 広 報	②8 方針を定めて効果的な広報を行います	<p>【平成 26 年度事例】</p> <p>平成 26 年 12 月より、転入者へ向けての図書館の案内チラシを作成・市民課の配布物に追加しました。成人式では図書館ブースを開き、お勧めの本と紹介者のスライド上映の実施しました。また図書館開館 70 周年記念の展示などの企画を開始しました（平成 28 年 3 月 31 日まで）</p> <p>広報との連携企画「私の本棚」を広報平成 27 年度 4 月号より掲載予定とし、館内で巡回展示を開始し、HP にコーナーを作成しました。</p> <p>【現状】</p> <p>平成 25 年度に開始した教育委員会メールマガジン・まちかねビジョンへの掲載を継続するとともに、図書館未利用者を含む広範囲の市民への PR を念頭に、上記のような取り組みを開始しました（成人式へのブース設置は継続して行った取り組み）。</p>

		<p>【課題】</p> <p>○10代後半から30代にかけての若年層への紙媒体に留まらない多様なメディアによるPR</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成27年度の予定】</p> <p>リタイア世代とともに、重点を置くべき10代後半から30代にかけての若年層へ、ターゲットを絞ったPRなどを検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>

○特定事業の見直しについて <http://www.city.toyonaka.osaka.jp/joho/saiken/tokuteijigyou.html>

○豊中市市有施設有効活用計画 <https://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/seibikatuyo/katuyo/keikaku.html>